

乾燥性敏感肌者の肌悩みに寄り添うWEB動画 「ママのバースデープレゼント大作戦」 公開1か月で130万回再生突破！



花王株式会社の乾燥性敏感肌を考えたスキンケアブランド「キュレル」が、11月12日(イイヒフ)の「皮膚の日」※より公開しているWEB動画「ママのバースデープレゼント大作戦」が、公開1ヶ月で、130万回再生を突破しました。

<https://www.youtube.com/watch?v=J0lqJzh3NzE>

「キュレル」は、乾燥性敏感肌の方に「365日・前向きに過ごしていただきたい」という願いから〈想いで、人は潤う〉をテーマに、本動画を制作しました。

「肌荒れが気になって、おしゃれが楽しめない」と乾燥性敏感肌に悩む母に、家族がサプライズを行うというもの。インタビューで、母の肌悩みを知った父と子どもたちは、肌にやさしいオリジナルのドレスを製作。サプライズのバースデープレゼント大作戦を企画します。

■肌悩みがあるとき、気持ちに寄り添ってもらえるだけで嬉しい

乾燥性敏感肌者を対象に、肌悩みがあるときに家族がしてくれたら嬉しいことを聞いたところ、気持ちに寄り添ってもらうだけで嬉しいといったコメントが多く寄せられました。

- ◇「言葉をかけてくれるだけで心配してくれているのだと思い、嬉しくなる。」(女性・40代)
- ◇「辛い気持ちに共感してくれるだけでよい」(女性・40代)
- ◇「嘘でも『気にならないよ』と言って自信をもたせて欲しい」(女性・30代)

本動画の視聴を通じ、多くのご家族が、肌悩みに寄り添う大切さを改めて実感いただけることを願っております。

「キュレル」ブランドサイト <https://www.kao.co.jp/curel/>

※1989年、日本臨床皮膚科医会がイイヒフにちなんで11月12日を「皮膚の日」と制定。



花王株式会社 商品広報部

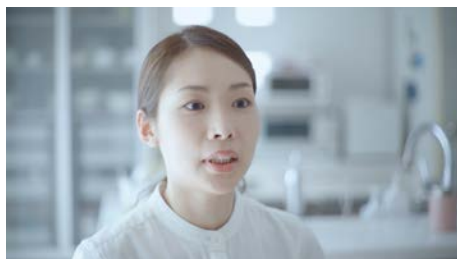
〒103-8210 東京都中央区日本橋茅場町1-14-10
<http://www.kao.com/jp/> ©Kao Corporation

※本資料記載の記事・写真の無断転載・複写を禁じます。リンク先は本件掲載時の情報であり、予告なく変更になる場合がございます。

《 動画概要 》

- タイトル：『ママのバースデープレゼント大作戦』
- 公開日：2018年11月12日
- 動画URL：<https://www.youtube.com/watch?v=J0lqJzh3NzE>

《 WEB動画『ママのバースデープレゼント大作戦』ストーリー詳細 》

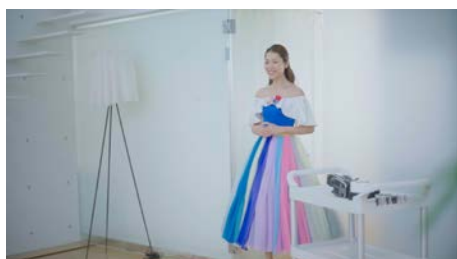


登場するのは、乾燥性敏感肌の母と、父と子どもたち。

父と子どもたちは母の悩みを聞き出すために、自分たちが聞いていることは秘密にして、母へのインタビューを行います。そこで出た母の悩みを受けて、父と子どもたちがバースデーパーティを企画します。



「肌荒れが気になって、おしゃれが楽しめない。」と言っていた母のインタビューを元に、肌にやさしいドレスを製作することに。父と子どもたちはスタイリストとともにドレスの製作に取り組みます。



母の誕生日当日、美容院へ母を呼び出して母をドレスアップさせます。父と子どもからのサプライズプレゼントに、思わず涙してしまう母。嬉しそうな笑顔で、子どもたちが母と触れ合っている様子で、ムービーは終わります。

《 家族の思いやり行動と肌悩みに関する調査》

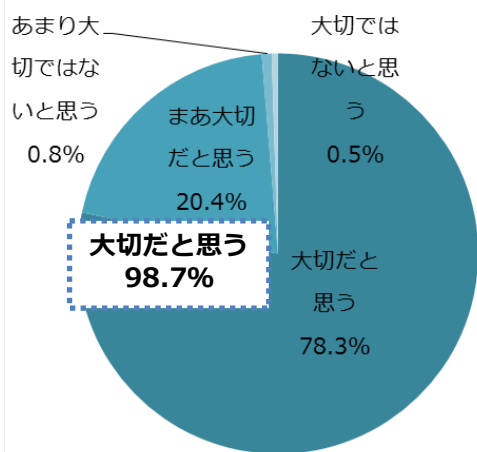
花王の「キュレル」は、全国の20～50代の既婚男女計1,000人を対象に「家族の思いやり行動と肌悩みに関する調査」を実施しました。

【調査概要】

時期	: 2018年8月	地域	: 全国
対象者	: N=1,000	その他	: 既婚者・子どもあり
性別	: 男女(男性:400、女性:600)	調査方法	: インターネット調査
年齢	: 20～50代		

調査結果① 家族への思いやりは大切、でも家族の悩みを聞いている人は少ない

Q.家族に対して思いやりを行動で示すことは大切だと思いますか。(単一回答・N=1,000)



既婚男女の98.7%が、家族に対して思いやりを行動で示すことが大切だと思うと回答しています。家族に対して思いやりを行動で示した場面を聞いたところ、トップ3は、1位「家族の健康に配慮する」(62.4%)、2位「何かを頼む時は、感謝を言葉で伝えている」(57.1%)、3位「誕生日・お祝い時にプレゼントを贈るなどのイベントを企画する」(56.6%)で、「家族が悩んでいる時は相談にのる」と回答した人は半数以下の48.1%と低い結果になりました。

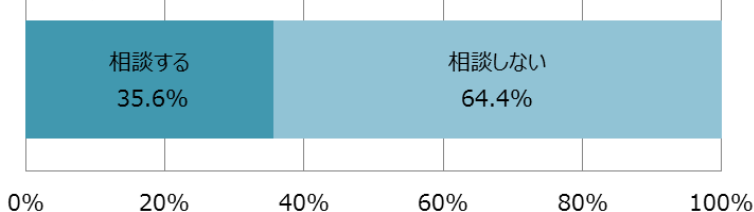
Q.家族に対して思いやりを行動で示したのはどんな場面ですか?(複数回答・N=882)



調査結果② 肌悩みの辛さは、家族にも打ち明けづらいデリケートなものだった

Q.あなたは肌荒れがひどく辛い時、家族に相談しますか。(単一回答・N=320)

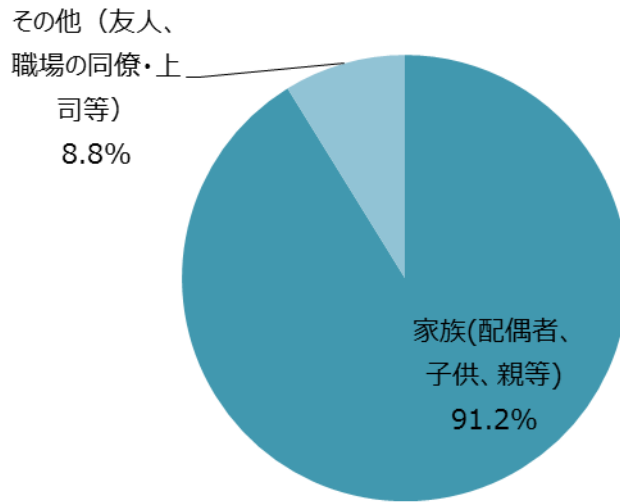
乾燥性敏感肌者に向けて、肌荒れが辛い時に家族に相談するかを聞いたところ、64.4%が相談しないと回答。乾燥性敏感肌の人にとって肌悩みは一番身近な存在である家族にも打ち明けづらく、一人で抱え込む傾向にあることが明らかになりました。



調査結果③

肌の調子が悪いとき、家族に気にかけてほしい人は9割以上

Q.肌荒れで困っているときに気にかけてほしい相手はいますか。(複数回答・N=102)

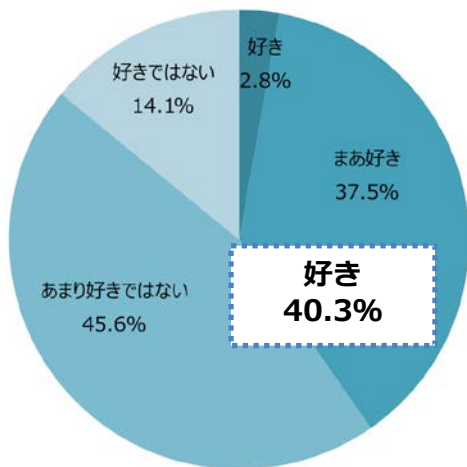


乾燥性敏感肌者を対象に、肌の調子が悪いときに気にかけてほしい相手について聞いたところ、「特にいない」の回答を除いて誰かしら気にかけてほしい相手を選んだ人のうち、91.2%が配偶者・子ども・親などの「家族」と回答。家族に肌悩みを打ち明けることが難しくても、気にかけてほしいと感じている人が多いことがわかりました。

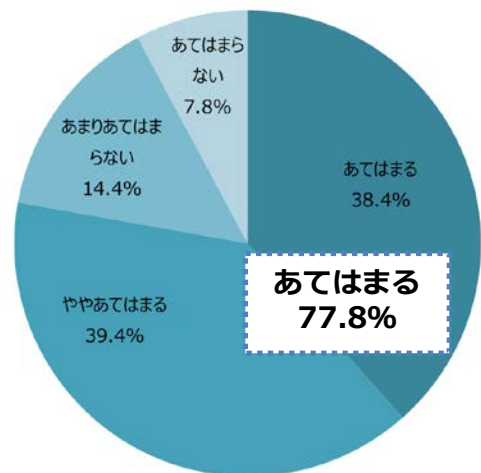
調査結果④

自分の肌に自信を持つことは難しいけれど、家族に肌を褒められるとうれしい

Q.あなたは自分の肌が好きですか(単一回答・N=320)



Q.肌の調子がよい時、家族に褒められると嬉しい(単一回答・N=320)



乾燥性敏感肌意識者のうち、自分の肌が好きと回答した人は40.3%と半数以下ですが、肌の調子がよい時に家族に褒められると嬉しいと答えた人は77.8%と高い数値になりました。自分の肌に自信を持つことは難しくても、家族からの一言で前向きな気持ちになれることが伺えます。